

菜の花

通信

新潟医療センター 広報誌

第6号

発行日

令和4年(2022年)
1月4日(火)

TOPICS

● 新年のご挨拶

● 特集「コロナと戦う」

- 新型コロナウイルス症にどう対応したのか
- 当院での新型コロナワクチン接種の報告
- 講演会「新型コロナウイルス感染症との戦い」
 - マスクの効果を最大限活かそう!
 - 来院時の注意事項

● MOA美術館新潟児童作品展の作品巡回展示

● 外来診療担当医表

病院の理念

生命の尊厳と人間愛を基本として、地域社会の医療・保健・福祉に貢献することをめざします。

基本方針

1. 私たちは、安全で質の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、利用する方々の権利を尊重し、信頼される医療法人をめざして研鑽に努めます。
3. 私たちは、地域が必要とする安心と満足の得られる、医療・保健・福祉の充実を図るための、健全な運営に努めます。



2022年 新年のご挨拶



厚生連新潟医療センター 病院長



吉澤 弘久

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

世界全体で見ると未だ猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、幸いながら日本において現状では小康状態となっています。政府は第6波に備え、**感染者数がピークだった今年の夏に比べて3割多い患者さんが入院できる体制を構築する政策を決定しています**。当院は重点医療機関に指定されており、

これまでに230名以上の患者さんの受け入れを行いました。感染拡大当初より、いち早く感染対策チームを立ち上げ、感染症病棟の設置、自院での積極的なPCR検査導入など、徹底した感染症対策を講じて、安心安全な医療提供に努めて参りました。その結果、幸いながらこれまで院内感染、職員の感染者を1名もだすことなく経過しています。たくさんの方々から応援メッセージ、支援物資の提供を頂いたことが大きな支えとなり、職員一丸となって戦うことができた成果と考えております。改めて心から御礼申し上げます。お陰様で当院では、病院の機能低下を最小限にとどめることができ、救急受け入れ件数もほぼ感染拡大前と同様な状況に回復しています。信頼され満足される医療をご提供し、“地域になくてはならない病院”として、お役に立てる様、職員一同、努力を続けてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



特集「コロナと戦う」



新潟医療センターでは、新型コロナウイルス感染症にどのように対応してきたのか？

当院では2020年7月に新型コロナウイルス感染症患者さんが初めて入院して以来、230名以上の患者さんを受け入れてきました。

実際に新型コロナウイルス感染症の治療にあたった、呼吸器内科医師や病棟看護師がどのように対応したのか、ご紹介いたします。

当院での新型コロナウイルス感染症の治療について

2019年12月に中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界的大流行となり、2020年1月14日に本邦1例目、2月29日には新潟県1例目の感染者が報告されました。

当院では直ちに新型コロナウイルス対策チームを立ち上げ、従業員一丸となって、感染制御、治療に当たって参りました。

早期にPCR検査機器が導入されたことにより、未然に院内感染を防ぎ、安心・安全な医療を提供できる環境が整いました。当院は、新型コロナウイルス感染症に対して、酸素療法が必要な中等症までを受け入れる重点医療機関に指定され、2020年7月以降、244名の患者さんを治療して参りました。重症化した方は新潟大学医歯学総合病院、新潟市民病院に、自宅療養可能になった方はオンライン診療医に依頼し、県、新潟市、各医療機関等と連携し、限られた医療資源の中、新型コロナウイルス診療を行って参りました。

治療法は徐々に確立し、抗ウイルス薬、抗炎症薬に加え、2021年7月に認可された抗体カクテル療法は、重症化を防ぐ切り札となり、当院は抗体カクテルセンターにも指定されました。



ワクチン接種は感染、重症化予防に寄与しますが、本邦でもオミクロン株が検出され、海外では感染が拡大しています。今後も、手洗い、マスク着用、密を避ける、換気等の基本的な感染対策は必要ですので、皆様におかれましては、冬季に向かい健康管理に御留意下さいませよう、宜しくお願い致します。

呼吸器内科 部長／栗山 英之



新型コロナウイルス感染症患者さんに対応して

昨年より新型コロナウイルス感染症の診療に携わっていますが、当初は新型コロナウイルス感染症についてわからないことだらけの状態でもあり、医療従事者の感染や病院・施設内での感染拡大の話を知った時に不安を感じていました。

実際に新型コロナウイルス感染症の診療に当たる際には、ただ闇雲に恐れるのではなく、確かな知識や情報を基に「正しく恐れる」の心構えで臨みました。マスク・手袋・ガウン・帽子・ゴーグル等の個人用防護具(PPE)の適切な着用や手洗い・手指消毒の徹底といった標準予防策(スタンダードプレコーション)をしっかりと行えば、感染を過度に恐れる必要はなく、日々の診療に従事することができました。

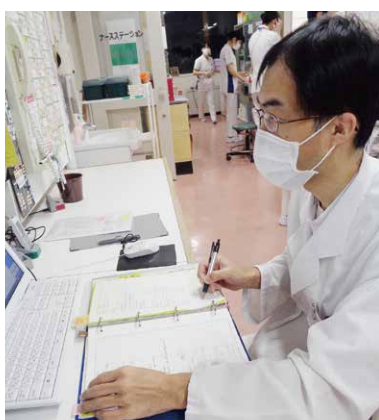


第6波に備え、今後も院内感染対策だけでなく、日常生活での感染予防においても、過度に恐れず、油断せず、「正しく恐れる」を実践していきたいと思います。

呼吸器内科 部長／杵淵 進一

当院では2020年の初夏からCOVID-19の入院診療をしてきましたが、ちょうどその頃、新規入院患者さん全員にCOVID-19のPCR検査が実施されるようになりました。同検査体制確立に御尽力いただいた病理診断科の内藤眞先生をはじめとした病理診断科、検査科の方々のおかげで安心して業務ができております。この場をお借りして御礼申し上げます。

他の呼吸器内科の先生方や看護部の方々には、私の診療上で不足している部分を補っていただき非常に有難く感じております。COVID-19の診療経験のある奈良本駿先生が昨年当院呼吸器内科に1人増員で異動して来られて心強く感じたことも思い出されます。



ここ最近では、抗体カクテル療法など新規治療に迅速な対応をいただいた薬剤部の方々にも感謝しております。

このように多くの方々の支えのおかげで何とかここまでやってこられました。第6波に備えつつ、今後も自らの責務を果たせるように努力していきたいと思います。

呼吸器内科 部長／遠藤 啓一



約2年が経過して新型コロナウイルスに対する有効な治療薬も出てきましたが、重症化してしまうと救命が困難なことがあります。感染しても重症化しないことが、皆様の健康そして医療体制を維持する上で重要だと感じました。そのためには一丸となって、各々の役割を果たしつつ、より良い「地域医療」を実践していく必要があると考えます。皆様もその地域医療を担う一員なのです。

私たち医療者には、「重症化の危険がある方にいち早く適切な治療を施す」役割があります。新潟医療センターでは主に軽症～中等症の多くの患者様を治療してきました。十分な経験を積んで参りましたし、今後もその役割を果たしていけると確信しております。

皆様には引き続き、「コロナ対策の生活様式」と「ワクチン接種」をお願いしたいです。また重症化する方は「糖尿病」を患っていることが多いです。糖尿病または予備軍と思われる方は、より一層お気を付けください。そして第二のコロナ（来ないことを願いますが…）に備えて、今から生活習慣を見直していくことも大事でしょう。

皆で最高の地域医療を実現し、新型コロナウイルスに立ち向かっていきましょう。



呼吸器内科 医長／西山 佑樹



新型コロナウイルス感染症患者さんの病棟での対応

2020年の春から新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ態勢が始まり、夏頃より患者さんの受け入れがあり実際に対応しました。

事前に防護服の着脱を練習していましたが、実際に着脱をする際には非常に緊張を強いられる瞬間でした。

感染予防の観点から、私たちは時間を決めて患者さんと接することになりました。短時間の接触で患者さんの状態を観察し、コミュニケーションを図るよう心掛けました。中には不安が強く、様々な訴えをしてくる方もいましたが、その都度スタッフ間で話し合い、対応の統一と不安の軽減に努めるよう援助しました。

見えない、会えない分、患者家族にも十分な説明を行い、不安を軽減できるよう病棟で取り組みをしました。

以前より、患者さんやその家族の事を考えることができる病棟になったのではないかと思います。

看護師／Aさん

当院で初めて新型コロナウイルス感染症患者を受け入れたのは、2020年7月でした。

世界的に猛威を振るうこの感染症は、肉体的だけではなく、精神的にも大きな影響を与えます。慣れない隔離環境下で過ごさなければならず、家族の直接的な面会も許されません。特に普段から携帯電話を持たない高齢の方は、より一層孤独を感じます。医療者側も常に全身防護具に身を包んでいる状態で、患者さんは私たちの表情がほぼ見えていないでしょう。この環境下で私たちにできることは何だろうかと考え、手探りで看護をしていた日々でした。

そんな中でリモート面会のシステムが整い、娘さんとリモート面会をした女性がありました。娘さんは涙目で前のめりになり画面に手を伸ばしながら話しかけ、病室では女性がそれはいい表情で娘さんとの会話を楽しんでいました。面会後の表情と声色の差を目の当たりにしたことで、環境が変わっても私たちにできる看護はあるのだと思えた半面、看護師だけでなく患者さんにおいても、画面や防護具越しではなく、直接お互いの表情を見ながら手を添えられるということがどれほど大きな力になっていたのかという事を、改めて考えさせられました。

一日も早く、心穏やかに過ごせる日々が戻ることを切に願います。

看護師／Bさん



私は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年6月からコロナ病棟へ異動となりました。

最初は感染予防のための防護服の着脱の練習から始まり、本格的にコロナ患者さんの対応をするようになったのは11月に発生した施設クラスターからでした。

今まで入院されていた患者さんは自立した人ばかりだったので、いきなり高齢の方の看護をするのは戸惑いが大きかったです。食事介助や痰の吸引で長時間患者さんと接した時や体調を崩した時には、もしかして自分も感染してしまったのではないかという不安もありました。ですが、毎日手洗いうがいを徹底するなど感染予防に努める中で、適切な対応をすればコロナに感染することはないということが分かったので、過度に怖がることはなくなりました。

現在県内のコロナの発生状況は少なくなってきていますが、日々積み重ねてきた知識と経験を今後活かしていきたいです。

看護師／Cさん





新型コロナウイルスワクチン接種について報告

当院は新型コロナウイルスワクチン接種の「個別接種」、「集団接種」、「職域接種」にも協力させていただきました。

2021年2月より、日本国内でも新型コロナウイルス感染拡大防止に有効な手段であるとされるワクチン接種がはじまりました。

当院では、4月1日より職員と病院内で働いている委託、派遣職員合わせて700名程に対してファイザー社のワクチンを2回接種しました。

新潟市より〔個別接種〕の実施内容が示されたことで、6月1日から高齢者枠の対象者から接種を開始、院外の医療従事者や高齢者施設の入居者とその施設職員への出張接種も実施いたしました。

また、新潟市の〔集団接種〕へは医師6名、看護師12名を派遣いたしました。

更に、県より〔職域接種〕への協力要請があり、病院の休診日となる土、日曜日に合計10日間にわたり医師、看護師、事務員がワンチームとなり実施いたしました。

ワクチンは、新型コロナウイルス感染を予防し、更に重症化を防ぐことができるため接種開始より職員一同、一人でも多くの地域住民の皆様へ接種することが当院の使命であるとして取り組んでまいりましたが、10月22日をもちまして2回目接種を終了とさせていただきました。

なお、2021年4月から10月までの新型コロナウイルスワクチン接種回数は、〔医療従事者（委託・派遣職員含む）〕1382回、〔個別接種（高齢者施設含む）〕8556回、〔職域接種〕5312回となりました。

国から、追加接種（3回目接種）を2021年12月1日から行うことと通知がありましたので、まずは医療従事者等を対象に接種を開始し、引き続き、2回目接種終了から原則8か月以上経過した地域住民の皆様へ、更なる新型コロナウイルス感染拡大防止のためワクチン接種を実施してまいります。

新潟医療センター健診センター





小針小学校区コミュニティ協議会講演会 「新型コロナウイルス感染症との戦い」



昨年12月7日、当院がある小針小学校区コミュニティ協議会の主催により、当院の吉澤弘久病院長の「新型コロナウイルス感染症との戦い」という演題で、地域住民の方々に向け講演会を行いました。当日は感染対策を徹底し70名以上の方が参加しました。

新型コロナウイルス感染症発生の経緯、日本での新規感染者から第5波までの推移、新型コロナウイルスが変異する仕組み、当院でも感染患者に使用した治療薬、ワクチンの仕組みや効果、接種後の痛みや倦怠感などの副作用等、新型コロナウイルス感染症について様々な内容で講演をいたしました。

また新潟県で新型コロナウイルス感染症の重点医療機関となった当院で、いち早く行った自院でのPCR検査の状況や、患者を受け入れた病棟での院内感染対策などを報道された新聞記事やニュース映像を交えてご紹介しました。

講演後の質疑応答では、オミクロン株のことや新型コロナワクチンの有効性についての質問がありました。さらに、早くから新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた当院への感謝と協力のお言葉もいただきました。

今後も続く新型コロナウイルス感染症の基本対策は、「うつらない」「うつさない」です。これからも「うつらない」、「うつさない」ための手洗いうがい、マスク着用を徹底していきましょう。

地域連携室／夏目 一臣





マスクの効果を最大限活かそう!

新型コロナウイルス感染症が新潟市で発生して、まもなく2年が経過します。

マスクが生活の一部となり、だいぶ着けて生活するのも慣れてきましたね。しかし!皆さんはマスクを正しく選択し正しく着けて効果を最大限に活かしていますか?

まず、マスクの選択ですがこの時代様々なマスクが選べるようになっていきます。様々なマスクの種類の中で、コストの問題もありますが、感染の予防効果が一番大きいのは不織布マスクとなります。

そして、不織布マスクを着けたときは、鼻のワイヤーはしっかり鼻に合わせて折り曲げ、あごの下まで広げることが重要です。また、自分の顔の大きさに合わせた サイズを選ぶことも重要となります。



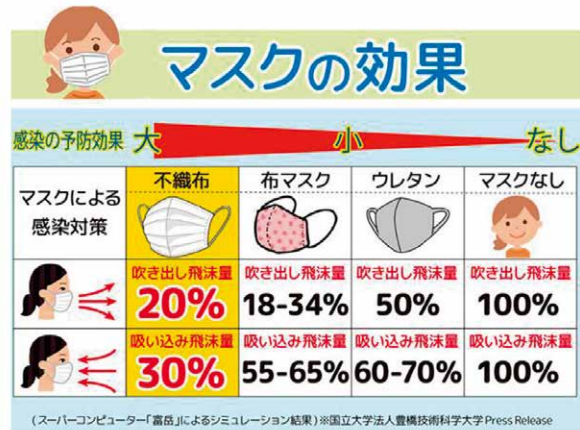
不織布マスクを着ける時は、鼻のワイヤーを折り曲げて、あごまで広げることがポイントです!

ワイヤーを曲げていない、しっかり広げていない、サイズがあってない場合は、隙間がうまれます。

ばい菌やウイルスは目に見えないほど小さいです。隙間があていれば簡単に入ってきます。

せっかく着けるマスクです。新型コロナウイルス感染症・インフルエンザに『かからない』『広げない』を合言葉に、正しく着けてこの冬も元気に過ごしましょう!!

感染症制御専従看護師 / 桑原 正祐



発熱患者様の受診方法や来院時などのお願ひ事項について

- 37.0℃以上の発熱のある方、強いだるさや咳などの風邪症状がある方、臭いがない、味がしないなどの症状がある方は来院前に必ずお電話(025-232-0111)をお願いいたします。なお、濃厚接触者と判断された場合や濃厚接触者の可能性がある場合は、保健所の指示に従ってください。
- 当院では現在、病院を利用されるすべての皆さまに、正面玄関にて、サーモグラフィーカメラによる検温、マスク着用、手指消毒をお願いしております。また、1週間以内に県外へ移動した方や県外の方との接触等を確認させていただいております。ご不便をお掛けいたしますが、ご協力をお願いいたします。

新潟医療センター 医事課

最後に

新型コロナウイルス感染症の収束にはまだしばらくの時間が必要になると思いますが、当院では引き続き県や市と連携し、なお一層の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に職員一丸となって、対応してまいります。



MOA美術館新潟児童作品展の作品巡回展示

MOA美術館児童作品展は「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが自然環境、社会、他社との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで、情操を養い豊かな心を育てることを目的に開催しています。

その中の新潟児童の入賞作品を、当院では年1回巡回展示しており、今年は12月に展示させていただきました。

力強く大胆に描かれた作品からは、描いた児童一人一人の感じたことや思い、願望などが伝わってきます。

来院された方々が足を止め作品に見入っており、たくさんの反響をいただいております。

皆さんも当院での巡回展示を見かけた際には足を止め、児童たちの作品を鑑賞してみてくださいはいかがでしょうか。



外来診療担当医表

2022年1月1日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科	8:00~11:30	若杉 裕	若杉 裕	若杉 裕	大学医師	大学医師
	予約のみ	本多 博史	本多 博史	本多 博史	本多 博史	本多 博史
	午後 予約のみ(13:00~16:00)	本多 博史	本多 博史		大学医師(血液内科)	本多 博史
循環器内科	8:00~11:30	岡田 慎輔	富井 亜佐子	樋口 浩太郎	眞田 明子	樋口 浩太郎
	予約のみ	眞田 明子	樋口 浩太郎	長谷川 祐紀	樋口 浩太郎	眞田 明子
	午後 予約のみ(13:00~14:30)			岡田 慎輔		
内分泌糖尿病内科	8:00~11:00	第1,3,5 五十嵐 智雄 第2,4 菅根 博仁(大学医師) 砂田 大介	中野 恵輔(大学医師)(再診のみ)	五十嵐 智雄 砂田 大介	五十嵐 智雄 富井 亜佐子	五十嵐 智雄 佐藤 陽子(大学医師)
	毎週火曜日の外来は再診のみとなります。					
消化器内科	8:00~11:30	高橋 澄雄	五十嵐 正人	田村 康	高橋 澄雄	佐藤 祐一
	予約のみ	青柳 豊	佐藤 祐一 高橋 澄雄	五十嵐 正人	青柳 豊	田村 康 前田 悠一郎
	午後 予約のみ					青柳 豊(肝臓)
腎臓内科 (予約のみ)	8:00~11:30	霜鳥 正明(10:00~12:30)				
	13:00~15:30					霜鳥 正明(14:00~16:00)
腎臓内科外来は完全予約制です。初めて、久しぶりの方は事前の予約と紹介状が必要になります。						
呼吸器内科	8:00~11:30	遠藤 啓一	栗山 英之	遠藤 啓一	杵淵 進一	杵淵 進一
	13:00~16:00	西山 佑樹	大学医師(15:30受付終了)	大学医師(15:30受付終了)	大学医師(15:30受付終了)	栗山 英之
脳神経内科	8:00~11:00	有泉 優子	石黒 舞乃	横関 明子	小島 直之	青山 あずさ
	予約のみ	小島 直之	大学医師	小島 直之	有泉 優子	小島 直之
	午後 予約のみ		有泉 優子		荒川 武蔵	
脳神経外科 [赤ちゃんの頭の形]外来(予約のみ)	8:00~11:30	西山 健一	長谷川 彰	西山 健一	長谷川 彰	西山 健一
	12:00~14:30	西山 健一		西山 健一		
心臓血管外科 (予約のみ)	13:00~15:00					大学医師(第1,3週のみ)
	心臓血管外科外来は完全予約制です。					
外科	8:00~11:00	大橋 泰博		加藤 崇	大橋 泰博	加藤 崇
		加藤 崇(10:30受付終了)				
	13:00~16:00	大橋 泰博				
乳がん検診の精密検査(2次検診)は予約制となります。						
小児科	予約のみ(9:00~11:30)		高見 暁(アレルギー外来)			
	13:30~16:30	大学医師	大学医師	大学医師	大学医師	大学医師
	予約のみ(14:00~16:00)		高見 暁(アレルギー外来)	ワクチン外来 第2,4 大学医師(齋藤)		
小児循環器(予約のみ)	午前			大学医師		
泌尿器科	8:00~11:00	志村 尚宣		志村 尚宣		志村 尚宣
	毎週火曜日は休診となります。					
整形外科 (予約のみ)	8:00~11:30	予約外来 佐藤 卓	予約外来 山中 佳代	予約外来 平野 貴文	予約外来 大沢 一孝	予約外来 高野 岳人(大学医師) 義肢・装具(10:00~12:00)
	13:00~16:30	人工関節外来 佐藤 卓 渡邊 聡	古賀 良生(第1週のみ)	膝・スポーツ外来 渡邊 聡 義肢・装具(15:00~)	佐藤 卓 渡邊 聡	
	整形外科外来は完全予約制です。初めて、久しぶりの方は事前の予約が必要になります。					
眼科 (予約のみ)	8:00~11:00	大湊 絢	末武 亜紀		関 正明	大湊 絢
	眼科は完全予約制です。初めて、久しぶりの方は事前の予約と紹介状が必要になります。					
皮膚科	8:00~11:30	松山 麻子	松山 麻子	橋本 和佳子	松山 麻子	橋本 和佳子
	8:00~11:30	工藤 英樹	予約外来	工藤 英樹	フットケア外来(予約のみ)	工藤 英樹
形成外科	13:00~16:00	工藤 英樹	予約外来			工藤 英樹
	8:00~11:00	高桑 好一 田中 憲一	高桑 好一 菖蒲川 紀久子	菖蒲川 紀久子	高桑 好一 菖蒲川 紀久子	高桑 好一 市川 香也
産婦人科	8:00~11:00	高桑 好一 田中 憲一	高桑 好一 菖蒲川 紀久子	菖蒲川 紀久子	高桑 好一 菖蒲川 紀久子	高桑 好一 市川 香也
	13:00~15:00		高桑 好一(不育外来)		高桑 好一(不育外来)	
毎週火、木曜日午後の不育外来は完全予約制です。事前の予約と紹介状が必要になります。						
耳鼻咽喉科	8:00~10:30			大学医師		
	14:00~16:00		大学医師			大学医師
歯科 口腔外科 小児歯科	8:30~11:30	道見 登 三上 俊彦	道見 登 三上 俊彦(往診)	道見 登 三上 俊彦(手術)	道見 登(11:30まで) 三上 俊彦(手術)	道見 登 三上 俊彦
	13:00~16:30	道見 登 三上 俊彦	道見 登(往診) 三上 俊彦	道見 登(往診) 三上 俊彦	道見 登(往診) 三上 俊彦	道見 登(往診) 三上 俊彦

※ 内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科：午後の診察は再診のみとなります。 ※ 内分泌代謝内科：毎週火曜日の外来は再診のみとなります。 ※ 泌尿器科：毎週火曜日の外来は休診となります。
 ※ 血液内科、膠原病科、腎臓内科、心臓血管外科、小児循環器、眼科、産婦人科不育外来、乳がん検診の精密検査(2次検診)：完全予約制の外来となります。(紹介状と事前に地域連携室で予約が必要です)
 ※ [赤ちゃんの頭の形]外来、整形外科：完全予約制の外来となります。(事前に地域連携室で予約が必要です)

午前の診察開始は9:00からとなります(一部を除き) 急患対応等で診察開始時間が遅れることもございますのでご了承下さい。

診療予約日の変更またはキャンセルは、電話でご連絡ください。平日(休診日を除く) 14:00~16:00 TEL 025-232-0111

休診日 土曜・日曜・祝日・8/12・年末年始(12/31~1/3) 新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター TEL.(025)232-0111